

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20392	
事業名	老人クラブ活動補助金						
評価担当課	所属	保)高齢保健福 高齢福祉課			電話番号	011-211-2976	
施策名	あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他						
事業内容 (何を実施し)	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	高齢化が進展し、単身高齢世帯の増加が見込まれる中、高齢者相互の支え合いの重要性が増しており、高齢者の生きがい・健康づくりや、地域のまちづくりを担う老人クラブの果たす役割の必要性が一層高まってきている。 一方で、地域の繋がりの希薄化やインターネット利用などコミュニケーションの変化により、高齢者の生活様式や意識が変化していることに加え、高齢者就業率の高まりを受け、老人クラブはクラブ数・会員数の減少、既存会員の高齢化に直面している。					
	事業内容(何を実施し)	地域における高齢者の社会参加を積極的に促進するために、老人クラブ活動のうち市長が適当と認める活動(ボランティア、友愛、スポーツ健康増進、文化・教養・趣味、レクリエーション)に対し補助を行なっている。 平成25年度から、老人クラブ活動の活性化や会員数の増加を目指して、これまでの会員数区分による一律補助から、会員数区分による定額補助部分(基本額)と、地域を豊かにする社会活動への取組割合に応じた加算部分(加算額)による補助制度に改正した。 加えて令和7年度からは、これからの時代に即した様々な地域や世代が集まる持続可能な「新たな老人クラブ」へと変革するため、地域要件および年齢要件の緩和、補助金額の増額、世代間交流活動加算の新設および補助対象経費を拡充することとしている。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	高齢者相互の支え合いの重要性が高まる中、高齢者の社会参加や地域貢献を担う老人クラブの果たす役割の必要性が、今後一層増すことから、本事業を通じて老人クラブ活動の一層の活性化を図る。					
	他都市の状況	各政令指定都市においても老人クラブに財政的支援を実施している。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	27,269 千円	うち特定財源	9,166 千円	正規職員業務量	0.2 人工		
令和6年度予算額	29,000 千円	うち特定財源	9,635 千円	正規職員業務量	0.2 人工		
令和6年度決算額	25,836 千円	うち特定財源	8,595 千円	正規職員業務量	0.2 人工		
令和7年度予算額	49,000 千円	うち特定財源	16,301 千円	正規職員業務量	0.2 人工		
指標	アウトプット 活動指標1	単位老人クラブ数		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		335クラブ	390クラブ	319クラブ	405クラブ	419クラブ	433クラブ
	アウトカム 成果指標1	「地域を豊かにする社会活動」への平均参加人数		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		320人	325人	336人	342人	342人	342人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		高齢者就業率の高まりなどから、クラブ数・会員数が減少傾向にある中、クラブ当たりの「地域を豊かにする社会活動」に参加する平均会員数については、コロナ禍が明けて活動が徐々に再開したことを受け、増加傾向にある。				
	アウトプット 活動指標2	老人クラブ会員数		という活動、業務を行うことで			
令和5年度実績		令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
16,683人		20,788人	15,991人	22,101人	23,415人	24,729人	
アウトカム 成果指標2	「地域を豊かにする社会活動」への平均参加人数		という状態にしたい、成果を挙げたい				
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
	320人	325人	336人	342人	342人	342人	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方		高齢者就業率の高まりなどから、クラブ数・会員数が減少傾向にある中、クラブ当たりの「地域を豊かにする社会活動」に参加する平均会員数については、コロナ禍が明けて活動が徐々に再開したことを受け、増加傾向にある。					
今年度の見直し内容	会員数区分による定額補助部分と活動への取り組み度合いに応じた加算部分に増額するとともに、世代間交流活動による補助制度を新設						
来年度以降の方向性	令和7年度からの制度見直しを通して、老人クラブ活動の活性化に努める						